

Grain Boundary

自由な発想と情報交歓の頁

第 20 回秋季シンポジウム報告

2007年9月12日から14日まで、名古屋工業大学において、第20回秋季シンポジウムが開催されました。開催日の前日は雨天となり、天候による影響が心配されましたが、当日には雨もやみ、会期中はほぼ晴天に恵まれました。そして、21の特定セッションと一般セッションで講演件数832件(口頭発表584件、ポスター発表248件)もの研究発表が行われ、また、参加者数も1375名と予想を大きく上回りました(2日目の正午頃に予稿集が全てなくなってしまいご迷惑をおかけしました)。キャンパス内は夏休み期間中にもかかわらず大にぎわいでした。

現地実行委員会は、名古屋工業大学内の日本セラミックス協会に所属する教員22名と事務職員1名の合計23名のメンバーから構成され、準備・運営を行いました。一部場所のわかりにくい会場もありましたが、会場がある建物が隣接していたため、比較的問題なく運営できたものと感じております。今回は特に1日目および2日目に、地元東海支部の特定セッションとして「自動車用セラミックスー地球に優しいクルマ社会をめざしてー」が開催され、会場には多くの参加者が詰めかけ、その中には多数の非会員の方の参加者があったということです。他の会場も負けず劣らずの盛況ぶりで、ある会場では立ち見の聴講者が廊下まであふれるぐらいでした。また、開催期間中の名古屋は非常に暑かったのですが、各会場でも熱い議論が繰り広げられました。懇親会は、当日帰られる方々にも安心してご参加頂けるようにJR鶴舞駅近くの名古屋市公会堂で行いました。こちらにも350名もの多くの方々が参加され、地元企業提供の特製ビアジョッキを片手に生ビールを味わいながら親睦を深められ大盛会でした。

最後に、参加された皆様には何かとご不満の点等あったのではないかとと思いますが、現地実行委員会

としましては、何とか無事終了できたことを喜んでおります。また、この運営を通じて、名古屋工業大学内の教員や学生との交流が今まで以上に深まったよい機会であったと感じています。

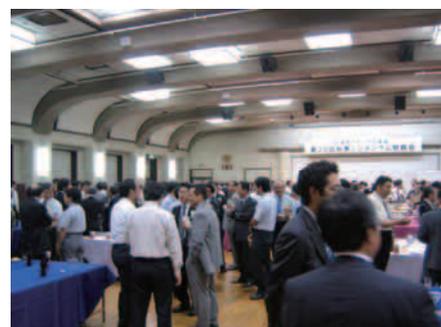
(名古屋工業大学 橋本 忍)



ポスター会場一角



企業展会場(13企業参加)



懇親会風景(名古屋市公会堂)